第７章　　図画工作

第１　教科目標，評価の観点及びその趣旨等

１　教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して，つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て，豊かな情操を養う。

２　評価の観点及びその趣旨

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもち，進んで表現や鑑賞の創造活動を楽しみ，つくりだす喜びを味わおうとする。	感じたことや考えたことなどをもとに，想像力を働かせながら自分らしい発想をし，よさや美しさなどを考え，豊かな表現を構想する。	表したい思いや意図に応じて，創造的な技能を働かせたり，造形感覚を生かしたりしながら表し方を工夫する。	造形作品などに関心や親しみをもち，そのよさや美しさなどを感じ取ったり，味わったりする。

３　内容のまとまりごとの評価規準の設定

図画工作の内容には，Ａ表現の(1)「楽しい造形活動をする（「造形遊び」）」と(2)「絵や立体，つくりたいものをつくる」及びＢ鑑賞(1)「関心をもって見る」の三つの内容があり，それぞれのまとまりごとに，評価規準を作成した。

第２　内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

Ⅰ　第１学年及び第２学年

１　学年目標

（１）表したいこと，つくりたいものを自分の表現方法でつくりだす喜びを味わうようにする。
（２）材料をもとにした造形活動を楽しみ，豊かな発想をするなどして，体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
（３）かいたり，つくったりしたものなどを見ることに関心をもち，その楽しさを味わうようにする。

２　第１学年及び第２学年の評価の観点の趣旨

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
表したいこと，つくりたいものを自分の表し方でつくりだすことやつくったものなどを見ることに関心をもち，進んで造形表現活動を楽しもうとする。	感じたことなどをもとに想像力を働かせ，表したいことを見付け，その思いをふくらませながら表したり，つくり方を考えたりする。	かいたり，つくったりしながら，思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。	かいたり，つくったりしたものの造形的な面白さなどに気付いたりして，楽しく見る。

３　学習指導要領の内容，内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

(1)「Ａ　表現（１）「楽しい造形活動をする（「造形遊び」）」

【学習指導要領の内容】

（１）材料をもとにして，楽しい造形活動をするようにする。
　ア　身近な自然物や人工の材料の形や色などに関心をもち，体全体の感覚を働かせて，思い付いたことを楽しく表すこと。
　イ　土，木，紙など扱いやすい材料を使い，それらを並べる，つなぐ，積むなど体全体を働かせて造形遊びをすること。

【「Ａ 表現（１）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
身近な自然物や人工の材料の形や色などに関心をもち，体全体を働かせ，それらに働きかけ（表現），働きを受け（鑑賞）ながら，自分の表し方でつくりだすことを楽しもうとする。	材料をもとに，材料の形や色などの特徴に気付き，感じたことなどから思いをふくらませ，活動しながら新たなアイデアを思い付いたり，表し方を考えたりする。	材料を並べる，つなぐ，積むなど思い付いたことを試し，手や体全体を思いのままに働かせ，体全体の感覚で感じ取りながら，造形的な技能を働かせる。

【「A 表現（1）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・身近な自然物や人工の材料の形や色に関心をもっている。 ・材料の形や色などの美しさや面白さ，不思議さなどの特徴を感じ取り，それらに関心をもっている。 ・材料を選んで手にしながら形や手触り，重さなどを楽しむなど，材料に働きかけ，かかわること自体を楽しもうとする。 ・もてる力を働かせ，いろいろ試すなど思いのままに進める造形活動の楽しさを味わおうとする。 ・興味や関心を満足させ，次の活動に移るなど，造形活動の過程を楽しもうとする。	・知っていることや表し方など想像力によって，並べる，つなぐ，積むなどして思いをふくらませる。 ・材料の形や色などの特徴から，使うところやさらにしたいことなどを思い付く。 ・活動しながら思い付き，初めの形を変え，別の材料を付け加えて新たにつくりだすなど表し方を考える。 ・材料の形や色などの美しさや面白さ，不思議な感じなどの特徴に気付いたり，扱う材料から想像を広げ，“この材料を，ここに使おう”など，子供らしい想像を広げる。 ・友人と共に，楽しい造形活動を思い付く。	・思い付いた方法を試したり，材料の扱い方を初めて試したりする。 ・造形体験をもとに，新たな試みをしたり，自分の表し方を確かめたり，広げたりする。 ・材料を自ら選び，高く積む，床に広げてつなぐ，並べるなど体全体を働かせる。 ・“ここにもかいてみたい”“もっと長くつなごう”など，思い付くことを意のままに表す 。 ・材料の大きい感じ，表し方の楽しい感じ，何かに見える形の感じなど体全体で感じ取り活動する。

(2)「A　表現（2）「絵や立体，つくりたいものをつくる」」

【学習指導要領の内容】

（2）感じたことや想像したことなどを絵や立体に表したり，つくりたいものをつくったりするようにする。

ア　表したいことを進んで見付け，好きな色を選んだり，いろいろな形をつくって楽しんだり，つくり方を考えるなどしながら，思いのままに表すこと。

イ　表したいことに合わせて，粘土，厚紙，クレヨン，パス，はさみ，のり，簡単な小刀類などの身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使い，絵や立体に表したり，つくりたいものをつくったりすること。

【「A表現（2）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
表したいことを表すために，好きな色を選んだり，いろいろな形をつくったり思いのままに表しながら，見ることに関心をもち，楽しくかいたり，つくったりしようとする。	感じたことや想像したことなどをもとに，表したいことを見付け，表したいことに合わせて，思いをふくらませ，好きな色，気に入った形などを選び，つくり方などを考える。	表したいことに合わせて，身近な材料や扱いやすい用具を手などを働かせて使い，自分の感じたように思い付いたことを試す体験をし，思いのままにかいたり，つくったりする。

【「A表現（２）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・形や色，表し方など手がけるほどに形や色が変わっていく面白さを楽しみ，新たな出会いや発見に関心をもっている。 ・行きつ戻りつするなどしながら，進める過程を楽しもうとする。 ・自分の方法で思いのままに表すことを楽しもうとする。 ・“楽しい形の材料でつくりたい”“いろいろな色を使うと楽しい感じになる”などつくり方や表し方について思い付いたことを試そうとする。	・うれしかったこと，不思議に思ったこと，夢を描くことなど，表したいことを見付ける。 ・描きながら思い付いたことをふくらませる。 ・形や色などの面白さや楽しさなどの特徴を生かし，いろいろな工夫を考える。 ・ 新しい表し方を見付け，思いをふくらませる。 ・いろいろな形や色を使って楽しい感じになるように考える。	・表したいことに合わせて，材料や用具を自分で集めたり，選んだり，試したりして思いのままに表す。 ・表したいことに合わせて，つくったりつくり直したりしながら新しい表し方を見付けて表す。 ・手がけるほどに形や色などが変わっていく面白さを楽しみ，かいたり，つくったりする。 ・好きな色や使ってみたい材料，気に入った形，偶然の面白さ，楽しい表し方を，自分の感覚で選び，かいたりつくったりする。 ・はさみ，のり，簡単な小刀類など扱いやすい用具の使い方に関心をもち，その扱いに慣れる。

(3)「B　鑑賞（1）「見ることに関心をもつ」」

【学習指導要領の内容】

（1）かいたり，つくったりしたものを見ることに関心をもつようにする。

ア　自分たちの作品の形や色，表し方の面白さなどに気付くなどして，見ることに関心をもつようにすること。

イ　身近な材料に触れ，その感じについて話したり，友人の作品の表したかった気持ちを聞いたりするなどして楽しく見ること。

【「B 鑑賞（1）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
自分たちの作品の形や色，表し方の面白さや身近な材料の感じなどに関心をもとうとする。	自分たちの作品や身近な材料について，話したり，友人の気持ちを聞いたりして，楽しく見る。

【「B 鑑賞（1）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・好きな色，楽しい形，使ってみたい材料などに関心をもっている。 ・自分たちの作品の形や色，表し方の面白さなどを見ることに関心をもつ。 ・友人の表し方を見たり話を聞いたりして，共に楽しむ。 ・友人の作品を見て，楽しい表し方に関心をもつ。	・見たり，触ったり，見比べたりしながら，使ってみたい材料や好きな色を選ぶ。 ・自分の作品を見せたり，作品の形や色，表し方の面白さなどについて，気付いたことなどを話したりする。 ・自分の作品に題名を付けたり，短い文を添えたりして，みんなに見てもらう。 ・表したかったことやつくりたかったものなど

・使う材料について，その形や色などの感じを楽しみ，使ってみたいという思いをもつ。	について簡単に話したり，友人の話を聞いたりしながら見る。 ・興味や関心のあるものを見たり，横や後ろから見たりして，見付けたことをみんなに話す。 ・自分たちの作品をただ見る，眺めるだけでなく，体全体の感覚を働かせて感じ取る。

Ⅱ　第３学年及び第４学年

１　学年目標

（１）豊かな発想や創造的な技能などを働かせ，その体験を深めることに関心をもつとともに，進んで表現する態度を育てるようにする。

（２）材料などから豊かな発想をし，手や体全体を十分に働かせ，表し方を工夫し，つくりだす能力，デザインの能力，創造的な工作の能力を伸ばすようにする。

（３）自分たちの作品や身近にある作品，材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに，それらに対する感覚を高めるようにする。

２　第３学年及び第４学年の評価の観点の趣旨

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど，進んで造形表現活動を楽しみ，その喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ，豊かな発想をしたり，つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。	手を十分働かせたり，体全体の感覚を生かしたりしながら，つくりだす能力などを働かせて，自分なりの技能や表し方を工夫する。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ，感じの違いなどに関心をもって見る。

３　学習指導要領の内容，内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

(1)「Ａ　表現（１）「楽しい造形活動をする（「造形遊び」）」

【学習指導要領の内容】

（１）材料や場所をもとにして，楽しい造形活動をするようにする。

ア　材料や場所，ものをつくった経験から発想したり，みんなで話し合って考えたりして楽しく表すこと。

イ　木切れなどの材料や場所の特徴をもとに，組み合わせる，切ってつなぐ，形を変えてつくるなど工夫し，新しい形をつくるとともに，その形から発想してつくりだす造形遊びをすること。

【「Ａ 表現（１）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
材料や場所をもとに，楽しく表しながら，体全体を働かせたり，みんなで話し合ったりしながら，自らつくりだす造形活動を楽しもうとする。	材料や場所の特徴を見付け，ものをつくった経験などをもとに，つくりだす能力などを働かせ，発想したり，みんなで話し合って考えたりする。	材料や場所の特徴をもとに，組み合わせる，形を変えてつくるなどしながら，それらの美しさや面白さ，表し方の感じの違いに関心をもち，体全体の感覚やつくりだす能力，デザインの能力などを働かせて，表し方を工夫する。

【「Ａ 表現（１）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・材料や場所などをもとに，	・材料や場所にかかわり，自分なり	・身近な自然物や人工の材料を

美しさや面白さ，楽しさなどを表そうとする。 ・みんなと共に活動し，目的や面白さ，楽しさを共有しながら，造形活動を楽しもうとする。 ・自分の思い付いたことをもとに，互いの思いを伝え合い，楽しい造形活動をしようとする。 ・手や体全体を働かせて，材料や場所にかかわろうとする。	の発想をする。 ・よさや美しさなど自分の感じ方を大切にし，想像をふくらませる。 ・想像したことを他のことがらとつないで合成し　新たなイメージをつくったり，思いをふくらませたりする。 ・みんなと目的や面白さ，楽しさを共有し，表し方を考える。 ・友人の表し方に刺激されたり，場所の特徴に感応したり，偶然見付けたことから新たに発想したりする。	使い，組み合わせる，切ってつなぐなどしながら，自分らしい表し方をする。 ・広さや起伏など身近な場所の特徴に合わせて形づくる。 ・試行錯誤しながら，活動場所にある材料の組合せや場所の特徴を生かしてつくる。 ・材料を飾ったり，加えたり，形を変えたりして工夫する。 ・初めて試みる表し方に挑んだり，思いのままにつくり，つくり直したりしながら，表し方を工夫する。 ・材料や場所とのかかわりや友人との交流を通して，いろいろな材料から必要なものを選び，体全体の感覚を働かせる活動をする。

(2)「A　表現（2）「絵や立体，つくりたいものをつくる」」

【学習指導要領の内容】

（2）見たこと，感じたこと，想像したことを絵や立体に表したり，つくりたいものをつくったりするようにする。

ア　表したいことを表すために，形や色，材料などを生かし，それらの組合せの感じに関心をもち，美しさや用途を考え，計画を立てるなど工夫して表すこと。

イ　表したいことに合わせて，前学年までに経験した材料や用具，板材などの特性を生かすとともに，手を十分に働かせて水彩絵の具，小刀，使いやすいのこぎりなどの用具を工夫して使い，絵や立体に表したり，つくりたいものをつくったりすること。

【「A　表現（2）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
表したいことを表すために，形や色，材料などを見ることに関心をもち，それらを生かし，組み合わせたりして，思いを表す体験を深めることに関心をもち，表すことを楽しもうとする。	感じたこと，想像したことなどをもとに，よさや美しさなど感じたことなどから表したいことを発想し，それに合わせて，美しさや用途などを考え，計画を立てるなど構想をする。	表したいことに合わせて，手などを働かせ，形や色などの特徴やそれらの組合せの感じを生かし，前学年までに経験した材料や用具などの特性を生かして，表し方を工夫する。

【「A　表現（2）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・表し方や材料，用具などを自ら選ぼうとする。 ・夢を描いたり，冒険心に富んだ表現を試みたりしようとする。 ・形と形，色と色，形と色などの組合せで，様々な美しさや面白い感じになることに気付き，それ	・見たり，聞いたり，触れたりしたことから何かを感じ，自分の表したいことを思い付く。 ・表すものの形や色，材料などの組合せの美しさや用途などを考える。 ・楽しいもの，美しいものにしようと，初めの計画を見直し，新たな発想を加えるなどして構想する。	・材料や用具を使って，いろいろな表し方を体験する。 ・板材など材料の重さ，丈夫さなどの特性を生かし，手などを働かせ，それまでに体験した表現方法を組み合わせて表す。 ・水彩絵の具やそれを生かす筆など用具のいろいろな扱いを見付け，

を楽しもうとする。 ・表したいことがよく表れるように取り組もうとする。	・表す過程で形や色，材料の組合せによって，新しい発見をしたり，偶然できた形や色などをきっかけにしたりして，新しい思いが生まれ，その思いをふくらませる。 ・友人とのかかわりで，表したことを振り返ったり，偶然の感じの面白さに気付いたりして，表したいことが表れるように見通しをもつ。	表し方を工夫する。 ・表す過程で，自分らしい美しさや面白さなどの感覚を働かせ，表したい感じになるまで形を変えてつくるなどする。 ・材料の鋭い感じや滑らかな感じなどの特性や形を変えたり，削ったりできる特性を生かそうとする。 ・表し方や材料，用具などを自ら選んだり，工夫して使ったりしながら表現活動を進める。 ・水彩絵の具，小刀，使いやすいのこぎりなどの用具の扱い方に慣れるとともに安全など適切な使い方にも気を付ける。

(3)「B　鑑賞（1）「関心をもって見る」」

【学習指導要領の内容】

（1）作品などのよさや美しさなどに関心をもって見るようにする。

ア　自分たちの作品のよさや面白さなどについていろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かり，関心をもって見ること。

イ　親しみのある美術作品や製作の過程などのよさや面白さなどについて，感じたことや思ったことを話し合うなどしながら見ること。

【「B　鑑賞（1）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
自分たちの作品や身近な造形品などの表し方や材料による感じの違い，よさや面白さなどに関心をもとうとする。	表し方や材料の感じの違いが分かり，親しみのある美術作品やその製作の過程などのよさや面白さなどについて，話し合うなど関心をもって見る。

【「B　鑑賞（1）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・話したり，聞いたりして，自分の感じ方や見方を広げようとする。 ・自分たちの作品や親しみのある美術作品などの美しさや表し方の違い，材料の違いなどに関心をもっている。 ・感じるままに見たり，自分でも試したいと思ったりするなど関心をもっている。 ・表したいことを自分たちで振り返り，発想の楽しさなどを分かり合おうとする。	・形や色の感じの手触りなどいろいろな感じの中から，選んだり，決めたりする。 ・表し方や材料の感じの違いが分かり，自分の言葉で話し，人の話を聞いたりしながら見る。 ・話したり，聞いたりして，自分の感じ方や見方を深める。 ・自分らしい美しさや面白さなどの感覚を働かせる。 ・友人の作品と自分の表し方の共通点や違いを見付けたり，美しさや面白さの感じに共感したりしたことを話し合う。 ・製作の過程を見ながら，材料や用具の生かし方，思いや意図を実現する工夫などに関心をも

	って見る。 ・いろいろな表し方の違い，材料の組合せによる感じの違いなどに気付く。

Ⅲ　第５学年及び第６学年

１　学年目標

（１）造形的な能力を働かせるとともに，自らつくりだす喜びを味わい，様々な表し方や見方に触れ，創造的に表現する態度を育てるようにする。

（２）材料などの特徴をとらえ，想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに，美しさなどを考え，創造表現の能力，デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。

（３）作品などを進んで鑑賞し，そのよさや美しさなどを感じ取り，感性を高めるとともに，それらを大切にするようにする。

２　第５学年及び第６学年の評価の観点の趣旨

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもち，造形的な能力を働かせるとともに，自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ，喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ，主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり，デザインの能力を働かせて，つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。	表したい意図や周りの様子に関連付けながら，創造的な技能を働かせたり，造形感覚を生かしたりして，表し方を工夫する。	造形作品などに親しみ，その美しさなどを感じたり，表し方のよさを感じ取ったり，味わったりする。

３　学習指導要領の内容，内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

(1)　「Ａ　表現（１）「楽しい造形活動をする（「造形遊び」）」

【学習指導要領の内容】

（１）材料や場所などの特徴をもとに工夫して，楽しい造形活動をするようにする。

ア　材料や場所などの特徴をもとに発想し，よさや美しさなどを考え，想像力や創造的な技能などを総合的に働かせて楽しく表現すること。

イ　材料や場所などに進んでかかわり合い，それらをもとに構成したり，つくるものと周囲の様子を考え合わせて表したりしながら造形遊びをすること。

【「Ａ　表現（１）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
材料や場所などに働きかけ，それらの特徴から発想したり，考えたりしたことをもとにして，想像力や技能などを総合的に働かせ，美しさなどを感じ取りながら，自らつくりだす造形活動の喜びを味わおうとする。	材料や場所などの特徴を見付け，それをもとに発想し，つくるものの意図や美しさ，楽しさなどを考え，周囲の様子を考え合わせるなどして，デザインの能力などを働かせ，構想する。	材料や場所などにかかわり，構成の美しさや面白さを感じ取り，つくりつつあるものを振り返り，環境を造形的に構成するなど，創造的な技能や造形感覚，感じ取る力などを関連付ける創造的な表現の能力などを働かせ，表し方を工夫する。

【「Ａ　表現（１）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・初めて経験する材料や用具，表し方に関心をもっている。	・材料の特徴や場所などの様子を合わせて考えるときに，よさや，美しさ，面白さなどを考え	・材料の形や色，大きさなどの特徴やその時，その場の特徴をもとにして，楽しい造形活動を

・新しい発想を目指したり，表し方を工夫したりして，楽しい造形活動を発想しようとする。 ・光や風，建物や広場，人の出入りなどにかかわり，その視覚的な効果を考え，必要な材料を探して，自分が納得するように表そうとする。 ・対象をあこがれをもって見たり，批判的に見たりしようとする。 ・新たな表し方を進んで試みようとする。	たり思いをめぐらせたりする。 ・材料や場所，環境に働きかけ，視覚的な効果や意外性，ユーモアのある発想を考えるなどして，人や自然にかかわる楽しい造形活動を考える。 ・それまでの造形体験をもとにして，発想を広げ，自分らしい表現や人に伝えることを考えて造形活動を構想する。 ・その時，その場の様子から材料に着色や磨きを加えて，その感じを変えるなど造形的な効果を考える。 ・楽しい発想やアイデア，よさや美しさ，ユーモアなどの感覚を働かせる。	する。 ・低学年や中学年で経験した「造形遊び」を広げ，発展させるように自分らしい楽しいアイデアを見付け，自分なりの表し方を工夫する。 ・美しさ，楽しさなどの調和を考えて形づくることや光，風，人の動き，その時，その場の様子が加わることで環境を構成するなどのために表し方を工夫。 ・自分の表したいことと環境などの特徴や様子を考え合わせ，必要なものをつくったり，造形的に整えたりして，他の人のために心温まるような場を造形的に構成する。 ・材料や場所などとの関係を進めながら，視覚的な効果を考え，構成の美しさなどについて感覚や感性を働かせる。 ・新たな表し方や楽しい発想を取り入れ，人に伝えることを意図するなどして，表し方を工夫する。

(2)「A　表現（2）「絵や立体，つくりたいものをつくる」」

【学習指導要領の内容】

（2）見たこと，感じたこと，想像したこと，伝え合いたいことを絵や立体に表現したり，工作に表したりするようにする。

ア　表したいことを表すために，形や色，材料の特徴や構成の美しさなどの感じ，つくるものの用途などを考えるとともに，表し方を構想し計画して，創造的な技能などを生かして表現すること。

イ　表したいことに合わせて，前学年までに経験した材料や用具，自分が選んだ材料，糸のこぎりなどの特徴を生かして使い，表現に適した方法などを組み合わせながら，絵や立体に表現したり，工作に表したりすること。

【「A　表現（2）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
表したいことを表すために，美しさを感じ取ったりしながら，自分の表し方で表現したり，新たな表現方法を試みたりするなど表現活動の楽しさを味わおうとする。	表したいことを見付け，形や色，材料の特徴や構成の美しさの感じ，つくるものの用途などを考え，主題の表し方を構想し，デザインの能力などを働かせ，自分が選んだ材料や用具の特徴を生かして，表し方を考える。	表したいことに合わせて，材料や構成の美しさなどの感じや用途を考え，造形感覚や創造的な工作の能力を働かせ，前学年までに経験した用具などを生かし，表現に適した方法を組み合わせ，表し方を工夫する。

【「A　表現（2）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・表したいことを表すために，材料や用具を選び，表現方法を試し	・表したいことを，見たことから想像することへ広げるなど楽しく考え	・材料や表し方を，表したいことに合わせて選び，試し，見付

たり，やり直したりしながら，表現活動の楽しさを味わおうとする。 ・それまでの造形体験を生かし，新たなことを試み，つくりだす喜びを味わおうとする。 ・友人の表現との交流がきっかけとなって，自分の作品を見せたり，友人の作品を見たりして，自分の表し方で表現しようとする。 ・新たな発想や表し方に取り組もうとする。 ・新しい発想を目指したり，表し方を工夫したりするなど創造的に表現しようとする。 ・材料では，存在感のあるものに関心を示し，表現方法では，手応えのある活動に意欲をもつ。	る。 ・使ってみたい材料や用具を選び，表現方法を試したり，やり直したりしながら構想する。 ・材料や用具，表し方を試し，その経験から発想したり，これまでに経験した表現方法を組み合わせ，新たな方法を考えたりする。 ・形や色，材料の特徴や構成の美しさなどの感じを楽しく構想し計画する。 ・実際に使えるもの，人の気持ちを考え，自分の思いや意図を人に伝えるもの，大きな飾りにするものなど見通しをもってつくるものの用途などを考える。 ・色の調子の柔らかい感じや形，色の調和的な配置の面白い感じ，動きの感じなど構成の美しさの感じを考える。	けたものを使う。 ・表したいことに合わせて，足りない材料を他のもので代用することや偶然見付けた方法を他の表現で試すことなど造形感覚や創造的な技能を働かせる。 ・面白い動きをつくった体験を，絵の表現に組み入れるなど，新たな方法を考えるなどしながら表現する。 ・自分の表現を振り返ったり，新たなものを加えたり，部分を取り換えたりなど自在に進めながら，自分の表し方で表現する。 ・材料や表し方を，表したいことに合わせて選び，試し，見付けたものを使う。 ・前学年までに経験した用具や糸のこぎりなどの用具に慣れるようにするとともに，簡単な手入れをしたり，大切にしたりする。

(3)「 B 鑑賞（1）「作品などを鑑賞し，親しむ」」

【学習指導要領の内容】

（1）作品などを鑑賞し，それらのよさや美しさに親しむようにする。

ア　自分たちの作品や表し方の変化など関心をもって見るとともに，表現の意図や特徴をとらえ，見方や感じ方を深めるようにすること。

イ　我が国や諸外国の親しみのある美術，暮らしの中の作品などのよさや美しさ，表現の意図などに関心をもって鑑賞すること。

【「B 鑑賞（1）」の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
自分たちがつくりだした作品や暮らしの中の造形作品，親しみのある美術などに関心をもち，その美しさや表し方のよさ，表し方の変化の面白さなどを味わおうとする。	造形作品などを，自分らしい見方や感じ方で能動的に鑑賞し，よさや美しさなどに親しむ。

【「B 鑑賞（1）」の評価規準の具体例】

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・楽しい感じ，重たい感じ，不思議な感じなど様々なよさや美しさ，表し方などに関心をもって見るなど親しもうとする。 ・親しみのある作品や自分の表現活動と関連があるような作品，作品がつくりだされる表現の過程を見ることに関心をもっている。 ・表現する人の思いや時代，地域の感じ方や見方による表し方の変化や工夫の面白さなどに関心をもっている。 ・友人の表現を見たり，美術の様々な表現に触	・作品の意図を想像したり，同じテーマの他の作品と見比べたりしながら見る。 ・自分の幼児期からの表し方の変化や友人の表現の変容，時代や地域によって表し方が異なることをとらえる。 ・美術作品などを，いろいろな角度から見たり，直感的に感じたことや思ったりしたこと，自ら見付けたり，選んだりした作品などを紹介し合う。 ・表現する人の思いや意図，様々な作品の表し方を見て，その特徴について話し合い，特徴をとら

れようとする。 ・友人の感じ方に共感したり，自分の考え方を大切にしたりしようとする。 ・表現する人の思いや意図，友人の見方や感じ方について分かり合おうとする。	える。 ・暮らしの中の作品などの意図や特徴を，思いのままに感じ取り，自分の表現のヒントを得る。

第３　題材の評価に関する事例

ここでは，子供たち一人一人の資質や能力を十分働かせ，高める題材をもとにして次の事例を紹介する。題材は，Ａ表現(2)の内容における評価規準や評価方法の具体的な取り組みを示す観点から題材名『キラキラワールドにゆめをのせて』（第４学年）を取り上げる。この題材の評価規準は，次のような手続きを通して設定した。つまり，「内容のまとまりごとの評価規準」から「題材の評価規準」を引き出し，「内容のまとまりごとの評価規準の具体例」から「学習活動における具体の評価規準」を引き出した。

また，設定した「学習活動における具体の評価規準」を活用する評価方法を示すとともに，Ａ表現(2)の内容における「鑑賞の能力」の扱いについても紹介する。

題材名『キラキラワールドにゆめをのせて』－Ａ表現(2)及びＢ鑑賞(1)－（第４学年・４時間）

１　学習の主題

身近にある光を反射する紙などの材料のよさや美しさなどに気付き，それらを生かし想像した世界を工夫しながら楽しくかいたり，つくったりする。

２　題材の目標

(1)光る材料の美しさなどを生かして表すことに関心をもち，表したいことが表れるように，友人の表し方などを見ることに関心をもち，かいたり，つくったりすることを楽しもうとする。

(2)題名や光を反射する紙などの材料をもとに，自分の表したいことを思い付き，形や色，材料などの組合せの美しさなどを考え，表したいことの見通しをもつ。

(3)アルミホイルやビーズなどの光る材料，水彩絵の具や接着剤などの用具の特性を生かし，表したいことが表れるよう組合せの感じなどを考えながら表し方を工夫する。

(4)友人のつくりつつあるものや作品を見て，表し方や材料の生かし方による感じの違いに気付き，自分の言葉で話したり，人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方のあることを知る。

３　題材の評価規準

【Ａ表現(2)及びＢ鑑賞(1)】

Ａ　表現（２）の評価規準			
内容のまとまりごとの評価規準とその具体例	ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能
	【内容のまとまりごとの評価規準】 表したいことを表すために，形や色，材料などを見ることに関心をもち，それらを生かし，組み合わせたりして，思いを表す体験を深めることに関心をもち，表すことを楽しもうとする。 **【内容のまとまりごとの評価規準の具体例】** ・表し方や材料，用具などを自ら選ぼうとする。 ・夢を描いたり，冒険心に富んだ表現を試みたりしようとする。 ・形と形，色と色，形と色などの組合せで，様々な美しさや面白い感じになることに気付き，それを楽しもうとする。 ・表したいことがよく表れるように取り組もうとする。	**【内容のまとまりごとの評価規準】** 感じたこと，想像したことなどをもとに，よさや美しさなど感じたことなどから表したいことを発想し，それらに合わせて，美しさや用途などを考え，計画を立てるなど構想をする。 **【内容のまとまりごとの評価規準の具体例】** ・見たり，聞いたり，触れたりしたことから何かを感じ，自分の表したいことを思い付く。 ・表すものの形や色，材料などの組合せの美しさや用途などを考える。 ・楽しいもの，美しいものにしようと，初めの計画を見直し，新たな発想を加えるなど計画を構想する。 ・表す過程で形や色，材料の組合せによって，新しい発見をしたり，偶然できた形や色などをきっかけとして，新しい思いが生まれ，その思いをふくらませる。 ・友人とのかかわりで，表したことを振り返ったり，偶然の	**【内容のまとまりごとの評価規準】** 表したいことに合わせて，手を働かせ，いろいろな表し方の体験を深めることに関心をもち，形や色などの特徴やそれらの組合せの感じを生かし，前学年までに経験した材料や用具などの特性を生かして，表し方を工夫する。 **【内容のまとまりごとの評価規準の具体例】** ・材料や用具を使って，いろいろな表し方を体験する。 ・板材など材料の重さ，丈夫さなどの特性を生かし，手などを働かせ，それまでに体験した表現方法を組み合わせて表す。 ・水彩絵の具やそれを生かす筆など用具のいろいろな扱いを見付け，表し方を工夫する。 ・表す過程で，自分らしい美しさや面白さなどの感覚を働かせ，表したい感じになるまで形を変えてつくるなどする。 ・材料の鋭い感じや滑らかな感じなどの特性や形を変えたり，削ったりできる特性を生かそうとする。 ・表し方や材料，用具などを自ら選んだり，工夫して使ったりしながら表現活動を進める。 ・水彩絵の具，小刀，使いやすいのこぎりなどの用具の扱い方に

		感じの面白さに気付いたりして，表したいことが表れるように見通しをもつ。	慣れるとともに安全など適切な使い方にも気を付ける。
題材の評価規準	光を反射する紙など，光る材料を集め，光り方の面白さや美しさの組合せに関心をもち，表したいことが表れるように，かいたり，つくったりすることを楽しもうとする。	題名や光を反射する紙などの材料をもとに，自分の表したいことを思い付き，形や色，材料などの組合せの美しさなどを考え，表したいことの見通しをもつ。	アルミホイルやビーズなどの光る材料，水彩絵の具や接着剤などの用具の特性を生かし，表したいことが表れるよう組合せの感じなどを考えながら表し方を工夫する。
学習活動に具体のおける評価規準	①アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや必要と思う用具を自ら集め，それらを生かそうとする。 ②思いに合わせて，美しさや面白さなどの感じを考えながら，自分の「キラキラワールド」を表すことを楽しもうとする。	① 形と形，形と色，材料と色などの組合せによって美しさや面白さの感じが違うことを感じながら，自分の表したい思いをふくらませる。 ②つくりながら表したい思いが生まれ，その思いを新たに加えるなど初めの計画を見直し，自分の表したい思いの見通しをもつ。	①アルミホイルやビーズなどの光る材料の形や色などの特性を生かしたり，手を加えてつくり変えたりしながら，かいたり，つくったりする。 ②光る材料や水彩絵の具などの用具の特性を生かし，色をつくったり，接着を確実にしたりしながら，表し方を工夫する。

内容のまとまりごとの評価規準とその具体例	B　鑑賞（1）の評価規準	
	ア 造形への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
	【内容のまとまりごとの評価規準】 自分たちの作品や身近な造形品などの表し方や材料による感じの違い，よさや面白さなどに関心をもとうとする。	**【内容のまとまりごとの評価規準】** 表し方や材料の感じの違いが分かり，親しみのある美術作品やその製作の過程などのよさや面白さなどについて，話し合うなど関心をもって見る。
	【内容のまとまりごとの評価規準の具体例】 ・話したり，聞いたりして，自分の感じ方や見方を広げようとする。 ・自分たちの作品や親しみのある美術作品などの美しさや表し方の違い，材料の違いなどに関心をもっている。 ・感じるままに見たり，自分でも試したいと思ったりするなど関心をもっている。 ・表したいことを自分たちで振り返り，発想の楽しさなどを分かり合おうとする。	**【内容のまとまりごとの評価規準の具体例】** ・形や色の感じ手触りなどいろいろな感じの中から，選んだり，決めたりする。 ・表し方や材料の感じの違いが分かり，自分の言葉で話し，人の話を聞いたりしながら見る。 ・話したり，聞いたりして，自分の感じ方や見方を深める。 ・自分らしい美しさや面白さなどの感覚を働かせる。 ・友人の作品と自分の表し方の共通点や違いを見付けたり，美しさや面白さの感じに共感したりしたことを話し合う。 ・製作の過程を見ながら，材料や用具の生かし方，思いや意図を実現する工夫などに関心をもって見る。 ・いろいろな表し方の違い，材料の組合せによる感じの違いなどに気付く。
題材の評価規準	みんなで，自分たちがつくりだした「キラキラワールド」の作品の材料の生かし方や表し方などを見ることに関心をもとうとする。	友人の表し方やキラキラする材料の生かし方の違いなどについて，話し合うなどして，感じ方や見方をひろげる。
学習活動に具体のおける評価規準	①新たなアイデアやいろいろなことを思い付く楽しさや面白さなどを分かり合おうとする。	①友人のつくりつつあるものや作品を見て，表し方や材料の生かし方による感じの違いに気付き，それについて，自分の言葉で話したり，人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方のあることを知る。

4　指導と評価の計画

（1）年間指導計画における本題材の位置付け

月・時間	題材名と学習の主題	題材の評価規準 ア 造形への関心・意欲・態度 （A表現及びB鑑賞）	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
5月―6月・6時間	ギコギコ，コロコロ楽しいなかま －A表現(2)－及び B鑑賞(1)－ 角材をのこぎりで切ったり，切った形を組み合わせたりしながら想像を広げ，思い付いたものをつくって楽しむ。	木の感触を楽しみながら，用具を使って木を切ったり，組み合わせてつくったりすることに関心をもち，よさや美しさなど自分の思いに合わせて表すことを楽しもうとする。	切り取ってできる形や組み合わせてできる形から自分の表したいことを思い付き，形を様々に組み合わせるなど考える。	角材，板材，のこぎりなどの材料や用具の扱いに慣れながら，表したいことがよく表れるよう，形の特徴や組合せの感じを生かして表す。	自分たちのつくりつつあるものやできた作品を見合いながら，自分の表したかったことや感じたことについて，思いのままに話し合う。
6月・4時間	**キラキラワールドにゆめを乗せて** **－A表現(2)及び B鑑賞(1)－** 身近にある光を反射する紙などの美しさに気付き，それらを生かして想像した世界を楽しくかいたりつくったりする。	光る材料の美しさなどを生かして表すことに関心をもち，表したいことが表れるように，友人の表し方などを見ることに関心をもち，かいたり，つくったりすることを楽しもうとする。	題名や光を反射する紙などの材料をもとに，自分の表したいことを思い付き，形や色，材料などの組合せの美しさなどを考え，表したいことの見通しをもつ。	アルミホイルやビーズなどの光る材料，水彩絵の具や接着剤などの用具の特性を生かし，表したいことが表れるよう組合せの感じなどを考えながら表し方を工夫する。	友人のつくりつつあるものや作品を見て，表し方や材料の生かし方による感じの違いに気付き，自分の言葉で話したり，人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方のあることを知る。
7月・2時間	いい場所，いいこと，見付けた！ －A表現(1)及び B鑑賞(1)－ 特徴のある場所を見付け，様々な材料を生かして友人とともに自分たちの空間づくりを楽しむ。	活動場所の特徴に関心をもち，新しい空間づくり（意味をつくりだす）について友人と話し合うなどしながら，体全体の感覚を働かせる造形活動を楽しもうとする。	場所の特徴をもとに楽しい発想をするとともに，これからの活動や表したいことを思い付き，材料との組合せを考えるなど活動しながら考える。	材料や場所の特徴をもとに，体全体の感覚を働かせ，新たな試みを表し方をしたり，材料の面白い使い方をしながら，表し方を工夫する。	材料や場所の特徴から思いついたり，場所のいろいろな生かし方の違い，材料の組み合わせの感じの違いなどについて，自分の感じ方や見方をする。

※　題材間の関連については，ア，イ，ウそれぞれの資質や能力が相互に働き合って次の学習においても働き，伸ばすことができように配慮した。なお，個々の題材の「ア 造形への関心・意欲・態度」については，A表現及びB鑑賞それぞれの評価規準をまとめて示している。

（2）題材の指導計画における評価

	学習活動	主な学習活動における具体の評価規準	評価方法
事前 1次	キラキラ光る材料に関心をもち，集める。 ↓ 材料を手に取り，自分なりの「キラキラワールド」を考える。 ↓	アー①表 アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや必要と思う用具を自ら集め，それらを生かそうとする	集めている材料や集める様子を聞きながら，関心をもっているかどうかを読み取る。活動や発話からも読み取るようにしたり，学習カードなどからも読み取ったりする。
2次	表したいことに合わせて，「キラキラワールド」をかいたり，つくったりする。 ↓	イー① 形と形，形と色，材料と色などの組合せによって美しさや面白さの感じが違うことを感じなが	思いに合わせていろいろ試し納得いくものを見付けようとしたり，楽しい発想を考えようとし

		ら，自分の表したい思いをふくらませる。	たりする様子から読み取る。また，つくりつつあるものからも読み取る。
３次	「キラキラワールド」にどんな夢を乗せたらもっと楽しくなるか，想像をふくらませてかいたり，つくったりする。 ↓	ウー① アルミホイルやビーズなどの光る材料の形や色などの特性を生かしたり，手を加えてつくり変えたりしながら，かいたり，つくったりする。	形や色，材料などの組合せを試す様子や発話などを観察を主に評価したり，学習カードや VTR の記録から評価する。
４次	題名を考えたり，みんなに伝えたいことを書いたりして，互いの作品を見合う。	エー ① 友人のつくりつつあるものや作品を見て，表し方や材料の生かし方による感じの違いに気付き，それについて，自分の言葉で話したり，人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方のあることを知る。	友人と話す様子や自分たちのつくったものについて感想などをメモしたり，工夫の楽しさなどについて話し合ったりする様子から評価する。VTR の記録などを参考にする。

（３）題材の展開例

	予想される学習活動の展開と 評価の対象となる造形表現活動の例	題材の評価規準と その活用場面	題材の評価規準と評価の方法
事前 １０分	キラキラ光る材料に関心をもち，集める。 「キラキラの材料って使ったことがなかった。たくさん集めてみたいな。」 「チョコレートの包み紙でもいいなんて，おもしろそう。」 集めてきた材料を紹介し合う。 「キャンデーの包み紙が自慢です」 「金色のくさりを何かに使いたいと考えているんだ」 「光が当たると色が変わって見えるよ」	アー①表	・材料箱を見せてもらったり，集めている様子を聞いたりしながら，アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや必要と思う用具を自ら集め，それらを生かそうとする様子を評価する。 （材料箱や準備物を観察，発話，VTR の記録から確認）
８０分	材料を扱いながら，その生かし方や自分なりの「キラキラワールド」を思い付く。 「アルミホイルを広げていると，鏡の世界が見えてきた」 「この紙をいろいろな形に切ってはっていったら，どんな世界になるかな」	イ－①	・形と形，形と色，材料と色などの組合せによって美しさや面白さの感じが違うことを感じながら，自分の表したい思いをふくらませる様子をとらえ評価する。（発話，自己評価カード）
	表したいことに合わせて，「キラキラワールド」をかいたり，つくったりして表す。 「アルミホイルを画用紙に，きれいにはって，氷の鏡の世界を表そう」 「安定するように木片を重しに使ってみたよ」 「不思議な水の出る洞窟には，アルミ線を使ってみよう」	アー②表 ウー①	・思いに合わせて，美しさや面白さなどの感じを考えながら，自分の「キラキラワールド」を楽しく表そうとする。（つくりつつあるもの，友人との交流） ・アルミホイルやビーズなどの光る材料の形や色などの特性を生かしたり，手を加えてつくり変えたりしながら，かいたり，つくったりする。（活動，VTR

	 星の世界って，こんな感じかな？ 「スパンコールは，星の世界みたいに見えるから，いろいろな色のスパンコールをたくさん並べてみよう。」 「アルミ線を使って，立体的なドームの形をつくろう。色紙を貼って壁にしよう。」 「キラキラの雲の上にいるお姫様の歌声が聞こえるように，歌っているところをつくろう。」 「暗い感じの色をぬると，キラキラ目立つようになるかな。」 「もっときらきら光ってきれいなものはないかな。」と欲しい材料の形や大きさ，感じなどを他の材料と見比べ，納得するものを探す。	イー② ウー②	の記録から確認） ・つくりながら表したい思いが　生まれ，その思いを新たに加えるなど初めの計画を見直し，自分の表したい思いの見通しをもつ。（活動，自己評価カード） **これは，空飛ぶドームだだよ。中もキラキラにして，外にもかざろう 。** ・光る材料や水彩絵の具などの用具の特性を生かし，色をつくったり，接着を確実にしたりしながら，表し方を工夫する様子を評価する。 （つくりつつあるもの，会話，VTR の記録から確認）
７５分	「キラキラワールド」にどんな夢を乗せたら楽しくなるか，想像をふくらませて，新たなアイデアを加えたり，表し方を工夫したりして，かいたりつくったりする。 「かいた形がもっとはっきりするように，白色を混ぜて，重ねてかこう。」 「アルミ線とアルミ線が，きっちり止まるように，セロハンテープで止めよう。」 「動くブランコをつけてみよう。」 「宇宙のドアーも付けてみよう。」 「妖精の国と人間の国をつなげるトンネルができてきた。もっと細いトンネルにつくり変えよう」 **このそりを持つ人は幸せになれるんだ** 「壊れたそりがよみがえった話に変え	アー①表 アー②表 イー② ウー②	・アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや使いたい用具を自ら集め，それらを生かそうとする。 ・思いに合わせて，美しさや面白さなどの感じを考えながら，自分の「キラキラワールド」を表すことを楽しもうとする。 **夜空を飛ぶ感じになってきたよ** ・つくりながら表したい思いが生まれ，その思いを新たに加えるなど初めの計画を見直し，自分の表したい思いの見通しをもつ。 ・光る材料や水彩絵の具などの用具の特性を生かし，色をつくったり，接着を確実にしたりしながら，表し方を工夫する様子をとらえ評価する。

	よう」		（発話，自己評価カード）
１５分	自分の作品の名前を考えたり，みんなに伝えたいことを付け加えて書いたりして，お互いの作品を見合う。 「風が吹くとキラキラ揺れる『光の森』です。光の精が住んでいます」 「立体的につくったところがとてもいいね。今度はわたしもそうしてみよう」 「Mさんの『光の森』は，ビーズが，たくさん吊して，動くとキラキラします。きれいだなと思いました。」 「Ｓくんのは，よく光っているように，黒色を塗って，その上にビーズなんかをはっています。いいなと思いました。」	アー①鑑 エー①	・新たなアイデアやいろいろなことを思い付く楽しさや面白さなどを分かり合おうとする様子を評価する。 **○○ちゃん，こんなことを考えていたんだね** ・友人のつくりつつあるものや作品を見て，表し方や材料の生かし方による感じの違いに気付き，それについて，自分の言葉で話したり，人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方のあることを知る様子を評価する。 （会話，カード，付箋紙）

※［　　］は，予想される学習活動の展開の要点として示している。学習活動の展開の要点に関連して，評価規準を対応して設けている。また，それぞれの観点の評価規準の①と②については，子供たちの学習活動の進捗状況に順じて評価するように示している。

5　観点別評価の進め方

（１）評価方法の工夫

評価方法の工夫は，授業中の観察だけでなく，いくつかの方法を駆使して多面的に評価することが望まれる。

子供たちの取り組みの様子を観察することに加えて，子供が自ら造形表現活動を振り返ったり，互いの作品を評価し合う方法（学習カードや付箋紙など），映像による記録から評価を確かめる方法，つくりつつあるもの（作品）を評価する方法など，いろいろな方法を組み合わせて評価することが考えられる。特に，造形表現活動の過程を評価する方法では，カメラやビデオなどの映像情報が，生かし方によっては有効なものになる。

例えば，次のような評価方法がある。

○　観察による評価：子供たちの活動や発話，友人とのかかわりなどを観察し，評価の観点をもとに記録する。（個人評価表，座席表，メモなどを活用し，よさや可能性を読みとる）

○　文字からの評価：子供が自ら書く学習カードや感想文，評価カードなどの文字から評価の観点をもとに記録する。（自分の思いや表し方を見直すことや友だちの表現から自分の表現のヒントを得ること，次時の学習への期待などを読みとる）

○　映像による評価：写真（カメラ，ビデオ）に撮り，活動の過程などの評価に生かす。

○　つくりつつあるものや作品による評価：つくりつつあるものや作品から，そこに込められた思いや意図，形や色の工夫，材料の生かし方，表現の過程などを読みとる。など

（２）「十分満足できると判断されるもの」（Ａ）の実現状況

①Ａの状況を実現していると判断する要点

Ａ（十分満足できると判断されるもの）は，Ｂ（おおむね満足できると判断されるもの）で働かせる資質・能力を総合的に，関連的に，主体的に，継続的に働かせている状態をいう。

○　総合的に働くは，子供たちの生活そのものといわれる遊びのもつ教育的な意義，例えば，楽しさやユーモア，夢，自由な活動，試行，冒険心，共同性などを働かせて，新しいアイデア，表し方の工夫，よさや美しさの意味などを自らつくりだすこと。

（活動に現れる例：第３学年～第６学年を対象にした場合）

自分の思いや意図をもとに，その時・その場の様子を生かして，例えば，足りない材料を自分でつくったり，他の材料で代用したり，また，材料を用具として利用したりするなど，すでにもっている知識や技能を，状況に応じて再構成しながら思いのままに働かせている。など

○　関連的に働くは，すでにもっている知識や技能を，新しい経験の機会に自分らしい方法で試したり，他の学習で経験した造形体験を生かしたりして，資質や能力を関連的に働かせること。

（活動に現れる例：第１学年～第４学年を 対象にした場合）
　例えば，紙粘土の作品の表面や合板を切り取った形の表面に絵をかくために，絵に表す表し方を使ったり，いろいろな材料を生かしてかいたりするなど，すでに知っている表現方法や材料・用具を，自分らしい表し方で組み合わせて表す。など

○　主体的に働くは，表したいことをもとに，自分がつくりつつあるものや表し方に新しいことを考えて付け加えたり，自分の作品や扱う材料・用具に，関心や愛着，こだわりをもち，納得できるように取り組むこと。

（活動に現れる例：第１学年～第６学年を対象にした場合）
　自分が思いついたことを自分らしい方法で表そうと試みたり，自分の意図をもとに材料に新たな意味を付けたり，動く作品や製作の過程に関心をもち熱心に見たりする。など

○　継続的に働くは，思いをもとに，自分が納得いくように，対象に働きかけたり，働きを受けたりしながらもてる力を働かせ，表し方の工夫を続けたり，完成を楽しみにつくり続けたりすること。

（活動に現れる例：第１学年～第６学年を対象にした場合）
　表したいことを表すために，完成の見通しをもち，他の色を混ぜたり，画用紙の切れ端を貼って直したり，気に入った形に直したりするなど，つくり・つくり変え・つくり続ける。など

②学習活動における評価規準の「十分満足できると判断されるもの」の例
　先の「キラキラワールドにゆめをのせて」の事例において，「十分満足できると判断されるもの」（Ａ）の状況を次のように想定できる。

学習活動における具体の評価規準	十分満足できる状況（Ａ）と判断した具体的な例
アー①表 アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや必要と思う用具を自ら集め，それらを生かそうとする。	アルミホイルなどいろいろな種類の光る材料を，表したいことに合わせて集めたり，集め方を考えたりしながら，進んで集めようとする。（主体的）
アー②表 思いに合わせて，美しさや面白さなどの感じを考えながら，自分の「キラキラワールド」を表すことを楽しもうする。	自分の思いに合わせて，材料や用具，表し方を選び，自分が納得いくまで試みようとするなど，つくり・つくり変え・つくり続けようとする。（継続的）
イー① 形と形，形と色，材料と色などの組合せによって美しさや面白さの感じが違うことを感じながら，自分の表したい思いをふくらませる。	表したい思いをもとに，光る材料の組合せ，美しさや面白さなどの生かし方を考えながら絵に表すか立体に表すかを選んだり，その表し方のために次々に新たなことを思い付くことを楽しんだりする。（関連的）
イー② つくりながら表したい思いが生まれ，その思いを新たに加えるなど初めの計画を見直し，自分の表したい思いの見通しをもつ。	光る材料や光り方の面白さなどを生かそうと，新たなアイデアを思い付き，その組合せ方や手を加えて形などを変えることなどを発想し，表し方の見通しをもつ。（関連的）
ウー① アルミホイルやビーズなどの光る材料の形や色などの特性を生かしたり，手を加えてつくり変えたりしながら，かいたり，つくったりする。	表したいことが表れるように，材料の形や色などの特徴をもとにその生かし方を思いのままに試み，自分が納得する組合せや描き方などして，かいたり，つくったりする。（主体的，関連的）
ウー② 光る材料や水彩絵の具などの用具の特性を生かし，色をつくったり，接着を確実にしたりしながら，表し方を工夫する。	表したい感じになるまで，つくり・つくり変え・つくり続けながら，用具の扱いに慣れ，動く仕掛けを考えたり，光る効果を考えたり，新たな方法を見付けたりして表し方を工夫する。（総合的）
アー①鑑 新たなアイデアやいろいろなことを思い付く楽しさや面白さなどを分かり合おうとする。	美しさや面白さなど自分の感じを大切にし，友人の発想や工夫を見て，そこから共感するものを自分の表現に加えたりして，感じ方や見方を深めようとする。（関連的）
エー ① 友人のつくりつつあるものや作品を見て，表し方や材料の生かし方による感じの違いに気付き，それについて，自分の言葉で話したり，人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方のあるこ	自分の表したいことを思いのままにふくらませ，楽しい「キラキラワールド」の形や色，自分の思いをふくらませて，それにこだわったり，友人の表現について具体的なところを挙げて，自分らし

とを知る。	い感じ方や見方を伝える。（主体的）

（３）Ｃの評価の子供への指導の手だて

努力を要すると評価（Ｃ）された子供や努力を要する状況にあると判断される子供たちへの対応には，十分な支援が必要である。

まず，子供たちとのかかわりでは，子供に寄り添い，共感を中心にした学習指導の基本的な姿勢で臨むことがあげられる。努力を要する状況にあると判断される子供には，様々な要因が関連していることが多いといわれる。そのために，かいたり，つくったりする造形表現活動においても，体験の少ないことや思いのままに表現することへの苦手意識などから自信をもてないことなどが指摘される。そのために，図画工作では，発想したことや想像したことを思いのままに表現できるようにするための支援を工夫することが大切である。

学習指導の手だてとして，例えば，「イ　発想や構想の能力」の ① の評価規準「形と形，形と色，材料と色などの組合せによって美しさや　面白さの感じが違うことを感じながら，自分の表したい思いをふくらませる。」ことに，努力を要すると判断された子供たちや，そのような状況で取り組んでいると判断される子供たちには，直接対話を進めながら，一人一人が陥っている状況を感じ取り，原因と考えられることを想像しながら，子供の思いを引き出す話題を選ぶようにすることである。

その際，結果を急がずに，キラキラ光る材料を手にしながら，その形の向きを変えたり，画用紙の上に置いたりしながら，話を進めるようにすることである。つまり，子供たちの発想の仕方には，具体的な形や色，材料などを手にしながら，思い付いたり，思いをふくらませたりすることがある。そのために，話題は，具体的にすることが望ましい。それが，うまくいかなかった場合には，この時期の子供たちに見られる友人のアイデアに共感し，楽しむことができることに着目し，友人のアイデアの中から，共感するアイデアを探すことを勧めることなどが考えられる。

６　観点別評価の総括

本題材においては，観点別評価の各観点の「内容のまとまりごとの評価規準の具体例」を参考に「学習活動における具体の評価規準」を複数設けている。この複数の評価規準の結果を総括する考え方や方法として，子供たちの進歩の状況を重視する総括の考え方や方法がある。

ここに示す事例では，子供たちの進歩の状況の総括例を具体的に示すために，「ア　造形への関心・意欲・態度」の観点を示している。「ア　造形への関心・意欲・態度」の観点には，Ａ表現のア－①とア－②，Ｂ鑑賞のア－①の３つの評価規準が設けられている。

本題材での評価規準の作成に当たっては，Ａ表現のア－①とア－②は，学習活動の進捗によって状況が異なることに配慮し，①の評価は，②の評価より先に行われることを想定している。また，Ａ表現のア－①とア－②及びＢ鑑賞のア－①の評価規準の関連については，事前指導を含む１次から４次までの学習指導の展開に応じて，連続的に繰り返し評価することを想定している。Ｂ鑑賞ア－①は，子どもたちが取り組んできたつくりつつあるものや自分たちの作品を対象として行う学習活動について評価するものであり，Ａ表現のア－①・ア－②と分かちがたい関係にある「ア　造形への関心や意欲，態度」としてとらえられる。したがって，Ａ表現のア－①とア－②，Ｂ鑑賞のア－①の評価規準を通して，子供たちの変容の様子をとらえることができる。

本題材の総括の考え方では，「ア　造形への関心・意欲・態度」の観点におけるそれぞれの評価規準の実現状況を連続的なものとしてとらえ，その変容の様子を確かめ，指導と評価が充実する学習活動の後半の評価規準を重視して総括を行う。この考え方は，「ア　造形への関心・意欲・態度」の観点に限らず「イ　発想や構想の能力」など他の観点の総括においても同様に考えることになる。

『キラキラワールドにゆめをのせて』の〔Ｋくん〕の「ア　造形への関心・意欲・態度」の評価

時間配分	学　習　活　動	題材の評価規準	学習活動における具体の評価規準	評価	観点別評価の総括
事　前 １次 (10分)	キラキラ光る材料に関心をもち，集める。 ↓ 集めてきた材料を紹介し合う。 ↓	（Ａ表現及びＢ鑑賞） 光る材料の美しさなどを生かして表すことに関心をもち，表したいことが表	ア－①表 アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや使いたい用具を自ら集め，それらを生かそうとする。	Ｃ	Ａ
２次 (80分)	材料を扱いながら，その生かし方や自分なりの「キラキラワールド」を思い付く。		ア－②表 思いに合わせて，美しさや面白さなどの感じを考えながら，自分の「キラキラワ		

	↓ 表したいことに合わせて，「キラキラワールド」をかいたり，つくったりして表す ↓	れるように，友人の表し方などを見ることに関心をもち，かいたり，つくったりすることを楽しもうとする。	ールド」を楽しく表そうとする。	B	
3次 (75分)	「キラキラワールド」にどんな夢を乗せたら楽しくなるか，想像をふくらませて，新たなアイデアを加えたり，表し方を工夫したりして，かいたりつくったりする。 ↓		アー①表 アルミホイル，包み紙，ビーズ，光る折り紙など，好きな形や色，手ざわりのよい材料などや使いたい用具を自ら集め，それらを生かそうとする。 アー②表 思いに合わせて，美しさや面白さなどの感じを考えながら，自分の「キラキラワールド」を楽しく表そうとする。	A A	
4次 (15分)	自分の作品の名前を考えたり，みんなに伝えたいことを付け加えて書いたりして，お互いの作品を見合う。		アー①鑑 新たなアイデアやいろいろなことを思い付く楽しさや面白さなどを分かり合おうとする。	A	

※　なお，子供たちの進歩の過程については，時間の経過とともに学習過程の全体の傾向が，右上がりと右下がり，横並びの３つの特徴に大別してとらえることができる。それぞれの特徴をとらえる場合にも，評価規準にもとづいて，A，B，Cを判断し，その上で，子供たち一人一人の進歩の様子を，記述などを添え，実現状況を示すようにすることが考えられる。

指導者は，評価方法として観察やＫくんの学習カードなどを情報として，「ア　造形への関心・意欲・態度」の実現状況をＡと判断した上でメモを作成した。

記述メモ作成のねらいは，本題材におけるＫくんの「ア　造形への関心・意欲・態度」の総括Ａのもつ意味，つまり，学習過程の変容の様子を添付し，Ａの意味を学習活動の実際に照らして明らかにすることを目的にしている。また，記述メモの使途については，学期ごと，学年ごとの総括の評価情報として活用するとともに，学習指導を振り返り，Ｋくんへのその後の指導を工夫する手がかりとして利用するものである。

指導者の評価カードの備考欄には，Ｋくんについて次のような記述メモが記されている。

「準備物もあまり無く，１週目の始めの頃には，友人のすることを見ていることが多かった。時間が経つにつれて，表したいキラキラワールドの形や色をつくり・つくり変えながら活動していた。２週目の授業では，自分の思いに合う材料などを家から持ってきた。友人の楽しいアイデアを自分の表現に取り入れるなどし，休み時間もつくり続ける姿が見られた。学習が進むにつれて，十分満足できると判断される（Ａ）状況が見られるようになった。」

このメモには，本題材が，２週にわたって行われ，１週目(90 分)でも２週目(90 分)でも，アー①とアー②を繰り返し評価し，変容をとらえたことが読みとれる。

この外にも，題材における観点別評価の総括については様々な考え方や方法があり，各学校において工夫されることが望まれる。